

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	沖縄SV	A	●0-2	まずはコロナ過で、とても厳しい状況の中、九州リーグが無事開催できるということに心から感謝申し上げます。 初戦の沖縄SV戦ですが、何とか善戦したかったのですが、自分たちのミスや隙をつかれ2失点。シュート1本に終わりました。 しかし、選手たちは初めての九州リーグの舞台で堂々と最後まで戦ってくれました。
2	海邦銀行SC	H	○2-0	第2節の海邦銀行戦は、前半は、相手にボールを持たれ動かされましたが、耐え凌ぎ決定機は与えず。 後半は徐々に押し込み2得点。九州リーグ初勝利を挙げることができました。 九州サッカーリーグ関係者の皆様、沖縄県サッカー協会社会人委員会の皆様、準備・運営に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。 今年度から九州リーグ初参戦となります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、関係者の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。
3	FC中津	A	○5-0	第3節は、同じ大分県のFC中津さんとの対戦。大分ダービーの試合となるので、試合の入りを強調した中で挑みました。 序盤は選手の動きの硬さと相手のビルドアップに後手を踏んだシーンも多くありましたが、ゲーム中に選手たち自身が修正しながら、徐々に落ち着きを取り戻し得点。 危ないシーンも作られましたが、粘り強く全員で耐えて無失点勝利。 勝利はできましたが、まだまだ課題も多いので、次節に向けてまたトレーニングに励みたいと思います。 最後になりましたが、FC中津の皆様、審判団、運営をしていただきました皆様、そして応援に駆けつけてくれた方々、ありがとうございました。
4	試合なし			
5	九州三菱自動車	A	○2-1	第4節は試合がなかったため、久しぶりの試合でした。 前半は自分たちのやりたいサッカーができ、いい流れで得点をとることができましたが、後半は相手の勢いもあり我慢の時間が多くなり失点。 2-1で何とか勝利することができました。 第6節はホーム開幕戦となるので、試合のみならず運営面もしっかり準備していきたいと思います。 九州三菱自動車の皆様、運営の皆様、福岡県協会様、審判団の皆様、応援に来ていただいた皆様、雨の中、ありがとうございました。
6	熊本県教員蹴友団	H	○3-0	リーグ第6節は、気温が高い中、そして、雨が降ったり、晴れたり目まぐるしく天候が変わる中、行われました。 結果だけを見れば、3-0での勝利でしたが、内容はまだまだ反省点も多く、課題が残る試合でした。 初のホームゲームで、運営面では慣れないところが多々あり、ご迷惑をおかけしたり、いたらぬ点多かったりしたと思います。 対戦相手の熊本県教員蹴友団さん、審判団、関係者の皆様ありがとうございました。 そして、運営（ボールパーソン等）をお願いしていた高校生が参加不可となり、急遽、参加していただいた皆さんにも感謝いたします。ありがとうございました。
7	川副クラブ	A	○4-1	試合の入りでバタバタしてしまいましたが、徐々にペースを握り得点。後半にFKを決められ1点差となったが、追加点を奪い勝利。 試合運び、内容ともに課題はありますが、良くなってきた部分もあるので、毎試合成長できるよう、またトレーニングに励みたいと思います。 川副クラブの皆様、審判団、運営の方々、暑い中ありがとうございました。
8	佐賀LIXIL	H	▲2-2 (PK4-5)	試合の入りはバツついたもののセットプレーの流れから前半に先制。 後半に追加点をあげたが、そこから2失点しPK負けで勝ち点1となりました。 連勝を重ねていきかけたが、まだまだ甘いということを痛感させられた試合になりました。 下を向くことなく次節に向けて準備したいと思います。 佐賀LIXILさん、審判団、運営、ボールパーソンの方々、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
9	NIFS KANOYA FC	A	○1-0	前節敗戦したことでリーグの厳しさを思い知ったとともに、自分たちの甘さやまだまだ隙があることを改めてチームで共有し1週間準備をしました。 試合内容で言えばうまくいかなかった部分が多かったが、厳しい試合をものにする。勝ち切るという点は良かったかと思う。 チームとしてこれから成長していく上で良いきっかけにしたい。 NIFS KANOYA FCの皆様、運営、審判団の方々、暑い中ありがとうございました。
10	ヴェロスクロノス都農	H	●0-1	ゲーム内容は、押し込まれ、厳しい時間が長くなる中、何とか全員で踏ん張りましたが、CKの流れからPKを取られ失点。0-1での敗戦となりました。 一瞬の隙や気の緩みが試合の勝敗を左右すること、普段のトレーニングからこの強度を意識し、緊張感を持って取り組まなければならないことを勉強させていただきました。 後期の最終戦ではリベンジを果たせるよう、またトレーニングに励みます。
11	日本製鉄大分	A	中止	大変暑い中、運営やサポートをしてくださった皆様、審判団の方々、ありがとうございました。
12	沖縄SV	H	●0-5	後期リーグ初戦は沖縄SVさんとの試合でした。 前期は敗戦したので、後期こそは勝利しようと意気込んで試合を迎えましたが、前半15分までにミスから2失点。結果的に0-5で敗戦でした。 2戦目は海邦銀行SCさんとの試合。 前期は勝利したものの非常に苦しめられたので、前日の大敗も含め、チームの力が試される試合でした。結果は3-0。
13	海邦銀行SC	A	○3-0	「勝利にこだわる。戦う。」という部分を先発選手のみならず、控え選手も含めた全員が表現し、チーム一丸となって戦えた結果ではないかと思います。 この宮崎集中開催で多くのことを学ばせていただきました。対戦相手の皆様、運営、審判団、ボールパーソンの皆様、暑い中2日間ありがとうございました。 後期リーグもよろしく願いいたします。
14	FC中津	H	○2-0	第14節はホームでFC中津さんとの試合。序盤からボールは握れていたものの、なかなか相手を崩せず前半を終えた。 後半途中に選手交代から流れを変えることができ、その後、2得点を奪い勝利。 暑い中、試合の運営に携わっていただいた皆様、審判団、ボールパーソン、応援に駆け付けてくださった方々、そしてFC中津の皆様、ありがとうございました。
15	試合なし			
16	九州三菱自動車	H	○4-0	九州リーグ第16節はホームで九州三菱自動車サッカー部さんとの試合でした。 まず、連日降り続く大雨の影響で移動など大変だったと思いますが、リーグが開催されたことに感謝いたします。 試合は、立ち上がりからゲームをコントロールし先制、後半に追加点を奪い無失点勝利でした。 まだまだ課題もありますが、リーグで一つでも順位を上げられるよう、またトレーニングに励みたいと思います。 九州三菱自動車サッカー部、運営、審判団、ボールパーソン、試合を行うにあたって携わっていただいたすべての皆様、ありがとうございました。
17	熊本県教員蹴友団	A	○3-0	リーグ戦の第17節はアウェイで熊本県教員蹴友団さんとの試合でした。 試合は、全体的には自分たちでゲームをコントロールし、無失点勝利で連勝を重ねることができました。 しかし、ただ勝利するだけではなく、もっと細部にこだわり、レベルアップをしていかなければならないことを、チーム全員が理解しているので、残り4試合となりましたが、1試合1試合を大切にしたいと思います。 熊本県教員蹴友団、運営、審判団、ボールパーソンなどの試合を開催するにあたって、携わってくれたすべての皆様、そして、応援していただいた皆さん、ありがとうございました。
18	川副クラブ	H	○3-0	リーグ戦の第18節はホームで川副クラブさんとの試合でした。 まず、先日の九州各地における大雨で川副クラブさんも被害を受けたと伺いました。そんな大変な中、大分までお越しいただきありがとうございました。 試合は勝利することができたものの、内容や細かい部分をみれば、まだまだ精度や質の低さが気になる試合となりました。 リーグ戦も残り3試合となりましたが、最後まで諦めることなくチーム全員で戦いたいと思います。 川副クラブ、運営、審判団、ボールパーソンなど試合を開催するにあたって、携わってくれたすべての皆様、そして、応援していただいた皆さん、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
19	佐賀LIXIL	A	○2-1	<p>リーグ第19節は佐賀LIXILさんとの試合でした。</p> <p>前期での対戦では敗戦しているのですが、今節は必ず勝利しようということで準備してきましたが、結果的には2-1で辛勝。課題が多く残る試合となりました。</p> <p>もっと内容も結果も高いレベルで示せるようにトレーニングに励みたいと思います。</p> <p>佐賀LIXIL、運営、審判団、ボールパーソンなど試合を開催するにあたって、携わってくれたすべての皆様、そして、応援していただいた皆さん、ありがとうございました。</p>
20	NIFS KANOYA FC	H	△1-1 (PK6-5)	<p>リーグ第20節はホームでNIFS KANOYA FCさんとの試合でした。</p> <p>試合開始から何度かチャンスを作るも、なかなか決めきれない展開が続いた。そんな中、後半PKから先制。</p> <p>しかし、得点直後に失点し、同点のまま終了。PK戦での勝利となりました。</p> <p>2試合連続、不用意なミスからの失点については、深く反省しなければなりません。</p> <p>リーグ戦も残すところ、1試合となりました。最終戦は勝って終われるよう準備したいと思います。</p> <p>NIFS KANOYA FC、運営、審判団、ボールパーソンなど試合を開催するにあたって、携わってくれたすべての皆様、そして、応援していただいた皆さん、ありがとうございました。</p>
21	ヴェロスクロノス都農	A	●1-5	<p>リーグ第21節はアウェイでヴェロスクロノス都農さんとの試合でした。</p> <p>最終戦を勝利で終えたかったのですが、開始20分で2失点してしまい、試合を難しくしてしまいました。</p> <p>後半、1点は返したものの、結果的にはセットプレー絡みで4失点し、1-5で敗戦。勝負弱さと経験力不足が露わとなりました。</p> <p>これで今季のリーグ戦は終了となりましたが、課題を整理し、また来季に向けて準備したいと思います。</p>
22	日本製鉄大分	H	中止	<p>ヴェロスクロノス都農、運営、審判団、ボールパーソンなど試合を開催するにあたって携わってくれたすべての皆様、そして応援していただいた皆さんありがとうございました。</p> <p>最後になりましたが、各チーム関係者の皆様、九州リーグ事務局の皆様、九州各県社会人委員会の皆様、九州各県審判委員会の皆様、大変お世話になりました。</p> <p>また来季もよろしくお願いいたします。</p>